

## §10 行列式の展開 演習問題2

📎 問題の難易度の目安【基礎】☆☆☆ 【標準】★★☆ 【発展】★★★

### 1 (★★★)(行列式の漸化式)

$x$  を実数とする.  $n = 1, 2, \dots$  に対し, 数列  $\{D_n\}_{n \geq 1}$  を

$$D_n := \begin{vmatrix} 1+x^2 & x & & & \\ x & 1+x^2 & x & & 0 \\ & x & \ddots & \ddots & \\ & & \ddots & 1+x^2 & x \\ 0 & & & x & 1+x^2 \end{vmatrix}$$

で定義する. ここに,

$$D_1 = 1+x^2, D_2 = \begin{vmatrix} 1+x^2 & x \\ x & 1+x^2 \end{vmatrix}, D_3 = \begin{vmatrix} 1+x^2 & x & 0 \\ x & 1+x^2 & x \\ 0 & x & 1+x^2 \end{vmatrix}$$

である.

- (1)  $D_n - D_{n-1} = x^2(D_{n-1} - D_{n-2})$  ( $n \geq 3$ ) を示せ.
- (2)  $D_n$  を求めよ.

### 2 (★★★)(Cauchy の平均値の定理)

$f(x), g(x)$  は  $a \leq x \leq b$  で連続かつ  $a < x < b$  で微分可能とする.  $a \leq x \leq b$  に対して,

$$F(x) := \begin{vmatrix} f(x) & g(x) & 1 \\ f(a) & g(a) & 1 \\ f(b) & g(b) & 1 \end{vmatrix}$$

とおく. 次の問いに答えよ.

- (1) ある実数  $c \in (a, b)$  が存在して,  $\begin{vmatrix} f'(c) & g'(c) & 0 \\ f(a) & g(a) & 1 \\ f(b) & g(b) & 1 \end{vmatrix} = 0$  が成り立つことを示せ.

📎 ヒント: 第1行に関する余因子展開と Rolle の定理を用いる.

- (2) すべての  $x \in (a, b)$  に対して  $g'(x) \neq 0$  のとき, ある実数  $c \in (a, b)$  が存在して

$$\frac{f(b) - f(a)}{g(b) - g(a)} = \frac{f'(c)}{g'(c)}$$

が成り立つことを示せ. これを **Cauchy の平均値の定理** という.

**3** (★★★) ヴァンデルモンド (Vandermonde) の行列式

つぎの行列式を求めよ：

$$\begin{vmatrix} 1 & 1 & 1 & \cdots & 1 \\ 1 & 2 & 3 & \cdots & n \\ 1^2 & 2^2 & 3^2 & \cdots & n^2 \\ \vdots & \vdots & \vdots & \vdots & \vdots \\ 1^{n-1} & 2^{n-1} & 3^{n-1} & \cdots & n^{n-1} \end{vmatrix}$$